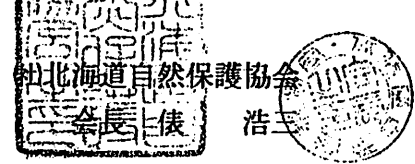


北海道知事 堀 達也 様

1997年1月20日



### 厚沢部川改修に関連して河川改修の総合的見直しを求める要望書

檜山支庁管内の厚沢部川流域では、昨年および一昨年に洪水被害があったため、函館土木現業所では、河川改修の一環として北海道費単独事業として河畔林を伐採し、来年度からは国庫補助事業として、大がかりな河川工事を予定していると承知しています。

ところで厚沢部川の事例では別記のことが指摘できることから、厚沢部川を含め、道内の河川改修に当たっては、下記のことについて特段の配慮をされるよう要望いたします。

#### 記

- 1 河畔林の存在は、河川生態系で重要な役割を果たしているため、事前にその自然環境調査や環境影響調査を行い、安易な伐採は行わないこと。
- 2 河川の増水は、流域の土地利用と密接な関係をもっており、単に築堤工事や護岸工事で解決できない場合が多いので、流域全体の治山、治水および植林を含めた対策を総合的に検討すること。とくに増水した泥水を短時間に海に流下させる現在の河川改修対策は、沿岸漁業に深刻な影響を与える点を考慮すること。
- 3 とくに北海道では「地域担当副知事」を新しく設けているので、流域全体の住民、農林漁業関係者、自然保護団体、関係行政機関などを交えた「流域環境会議」（仮称）を設置し、その意見をとり入れた河川改修を計画すること。

#### 〈別記〉

①河畔林の先行伐採が行われ、また伐採の予定があるが、河畔林の存在が水害の大きな要因とは考えにくく、むしろ地形的な影響や上流の森林伐採の影響がより強いと考えられること。また、河畔林の存在は魚類をはじめ、鳥獣、昆虫、草本など動植物の生息、生育に好適な場所を提供しており、河川生態系で重要な役割をはたしているにもかかわらず、その環境調査や影響予測がまったく行われていないこと。

②河川の増水を航空写真で見ると、ひどい泥水となっており、このことは上流地域での保水能力の低下（例えば森林伐採）が関係しており、近年の異常な増水や泥水は、部分的な築堤や護岸工事では解決できないと考えられること。

③河川の泥水は、流路の魚類や水生生物の生息環境に悪影響を与え、沿岸の漁業にも深刻な被害をもたらしていること。

④厚沢部川の河川改修では、地域の住民を交えた農業、林業、漁業関係者の他、自然保護、川遊びなど、幅広い人々を集めた「流域環境会議」の設置を考えている由で、そのことは評価すべきことである。